

社会政策学会 *Newsletter*

◇学会本部 大分大学経済学部 URL <http://www.soc.nii.ac.jp/sssp/>
Tel&Fax 097-554-7682 E-mail: ssspoita@cc.oita-u.ac.jp
◇編集・発行 阿部 誠(代表幹事) 菅沼 隆(広報委員長)
◇事務センター 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル ㈱ワールドプランニング
Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail: world@med.email.ne.jp

《目次》

1. 第120回大会自由論題、テーマ別分科会の報告募集
2. 2009年度臨時総会の報告
3. 選挙管理委員会報告
4. 学会誌編集委員会からのお知らせ
5. 学会賞候補作の自薦・他薦の募集
6. 幹事会議事録
7. 承認された新入会員

1. 第120回大会自由論題、テーマ別分科会の報告募集

社会政策学会第120回大会は、2010年6月19日(土)と20日(日)に早稲田大学国際会議場および商学部キャンパスで開催されます。春季大会企画委員会では、同大会で開かれる自由論題およびテーマ別分科会での報告を募集しています。報告をご希望の方は、下記の要領でご応募ください。

なお、19日(土)にテーマ別分科会の一部と共通論題が、20日(日)に自由論題およびテーマ別分科会が行われます。

(1)自由論題で報告を希望される会員は、学会のホームページからダウンロードした応募用紙に、報告タイトル、所属機関とポジション、氏名(ふりがな)、連絡先(住所、電話、Fax、メールアドレス)、400字程度のアブストラクト、専門分野別コード(1. 労使関係・労働経済、2. 社会保障・社会福祉、3. 労働史・労働運動史、4. ジェンダー・女性、5. 生活・家族、6. その他)等必要事項を記入のうえ、添付ファイルとして下記のメールアドレスにご応募ください。なお、論文、あるいは他の学会報告等のかたちで既発表の報告の応募は、不採択といたしますのでご注意ください。また、自由論題に応募資格があるのは、会員で、当該年度まで会費を納入されている方です。

自由論題報告 応募・問い合わせ先
syunki2010jiyuu@yahoo.co.jp

(2)テーマ別分科会の企画を希望する会員は、学会のホームページからダウンロードした応募用紙に、分科会名、座長・コーディネーターの氏名(ふりがな)、所属機関とポジション、連絡先(住所、電話、Fax、メールアドレス)、報告者の氏名(ふりがな)、所属機関とポジション、メールアドレス、分科会タイトル、分科会設定の趣旨(400字程度、非会員を報告者に招聘する

ときは、招聘しなければならない理由を記入のこと)、各報告のアブストラクト(400字程度)等の必要事項を記載のうえ、添付ファイルとして下記にご応募ください。なお、テーマ別分科会の企画に応募資格があるのは会員のみです。

テーマ別分科会報告 応募・問い合わせ先
bunkakai_2010@mail.goo.ne.jp

以下は、自由論題とテーマ別分科会の応募に共通の注意事項です。

(3)応募は、原則として、学会ホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入し、添付ファイルとして、上記のメールアドレスにお送りいただくことになっています。しかし、コンピューター環境が整っていない場合は、上記の必要事項をもれなく記載して、下記の春季大会企画委員長宛に郵送でお送りいただいても結構です。

(4)応募用紙の「趣旨」「アブストラクト」の「400字程度」との字数をお守りください。記入の不完全なもの、字数の著しく過剰なものや過少なものは、応募を不採択とさせていただきます。

(5)応募にあたっては、2010年1月25日(月)現在の所属機関とポジションをご記入ください。大会プログラムには、原則として所属機関のみを表記しますが、院生の場合は所属機関とポジション(院生)を表記します。4月1日より変更となる方は、報告時のフルペーパーに新しい所属機関などを各自がお書きくださることで変更にご対応ください。

(6)応募用紙に、タイトルおよび報告者の氏名・所属機関・ポジションの英語表記を記入していただくことになっていますので、ご注意ください。

(7)応募の締め切りは、2010年1月25日(月)です。郵送の場合は当日必着です。締め切り後の応募は、不採択とさせていただきます。

(8)応募された方に対しては、締め切りから一週間以内に応募用紙受理の連絡を行います。この時まで連絡のない場合はなんらかの事故の可能性がありますので、各問い合わせメールアドレスおよび下記の春季大会企画委員長宛にお問い合わせください。

(9)応募の採択と不採択の結果については、春季大会企画委員会および幹事会で審査の上、2月下旬までにご連絡する予定です。

(10)自由論題およびテーマ別分科会での報告が採択された方には、大会2週間前までにフルペーパーを、自由論題は100部・テーマ別分科会は120部(いずれも日本語が好ましいが英語も可、その他の語は不可)、開催校に送付していただくことをお願いしていますので、あらかじめご了解ください。

(11) 自由論題およびテーマ別分科会で報告された会員は、大会での報告後、フルペーパーに改善を加えて、社会政策学会誌『社会政策』に投稿されることを、幹事会と学会誌編集委員会はつよく奨励し期待しています。大会用フルペーパーは、その後の投稿を考慮してご執筆ください。なお、『社会政策』へ投稿する資格があるのは会員のみです。

春季大会企画委員長 佐口和郎(さぐちかずろう)

〒113-003 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学経済学部

電話:03-5841-5605(直通)

FAX:03-5841-5521(秘書室)

Email: saguchi@e.u-tokyo.ac.jp

2. 2009年度臨時総会の報告

第119回大会が開催された金城学院大学において10月31日に臨時総会が開かれました。下記の議題が審議され、会則の改正案及び旅費規程の改正案が幹事会の提案通りに承認されました。

- 議題**
1. 会則の改正について
 2. 旅費規程の改正について
 3. 幹事選挙の結果報告
 4. 編集委員会報告
 5. その他(学会賞選考委員の委嘱)

1. 会則の改正について

改正の趣旨

現行の会則では、次期代表幹事及び諸役員を選出する手続きが明確でなかったため、今回の会則の改正は、その手続きを明文化したものです。そのため、会則第3章の第16条(幹事会の構成)を新たに設けました。その他の点は第16条の規定にともなう最低限の改正です。

改正された会則(抄)

第3章 役員

(役員)

第11条 本会に次の役員を置く。

幹事 24人

会計監査 1人

(選出幹事)

第12条 幹事のうち16人は、選出幹事と呼び、全会員の郵送投票によって会員中より選出する。選出幹事に関する細目は、別に定める「幹事の選出に関する規程」による。

(推薦幹事)

第12条の2 幹事のうち8人は、推薦幹事と呼び、選出幹事の推薦によって選任する。推薦幹事の選任にあたっては、幹事の構成が偏ることのないよう研究分野・性・年齢・地域などの諸要素を考慮に入れるものとする。推薦幹事は、2期連続して推薦により選任されないことを原則とする。

(幹事の任期)

第13条 幹事の任期は2年とし、改選の行なわれた総会終了後から、次の改選の行なわれる総会まで在任するものとする。連続3期を限度として、重任は妨げない。幹事が在任中に死去し、あるいは長期間の病気・留学などやむをえない事情により辞任するなどして欠員が生じたときは、これを補充する。補充は、選出幹事にあつては次点者を順次繰り上げ、推薦幹事にあつては、選出幹事の推薦によって選任する。補充された幹事の任期は、前任者の残任期間である。

(幹事会)

第14条 本会には幹事会を置く。

幹事会は、総会から総会までの間、本会の重要事項を審議し、各種の委員会を統括する。幹事会の議事は、出席者の過半数により決定する。可否同

数の時は議長が決定する。

(代表幹事)

第15条 選出幹事は、互選により代表幹事1人を選出する。

代表幹事は、幹事会を招集する。

代表幹事は、本会を代表し、本会の会務を統括する。

(幹事会の構成)

第16条 本会の幹事会を構成する手続きは、つぎの通りとする。

一 現期の代表幹事は、その任期が終了する遅くとも3ヶ月前までに次期の選出幹事を招集して第1回次期幹事会準備会を開催する。第1回次期幹事会準備会は、次期の選出幹事の互選により、次期の代表幹事を選出する。

二 現期の代表幹事は、次期の代表幹事の氏名を会員に公表する。

三 次期の代表幹事は、現期の幹事の任期が終了する遅くとも1ヶ月前までに、次期の選出幹事を招集して第2回次期幹事会準備会を開催する。第2回次期幹事会準備会は、次期の推薦幹事の氏名について、次期の代表幹事から提案を受け、これを決定する。

四 次期の代表幹事は、その幹事任期の開始とともに、代表幹事となる。次期の推薦幹事は、その幹事任期の開始とともに、推薦幹事となる。

五 代表幹事は、その幹事任期が開始した後すみやかに、第1回幹事会を招集する。

六 次期の選出幹事が第1回および第2回の次期幹事会準備会に出席することにたいして、旅費規程を適用する。ただし、旅費規程が適用される別の会議への出席をかねて、第1回および第2回の次期幹事会準備会に出席するときは、重複して適用しない。

(会計監査)

第17条 会計監査は、本会の経理を監査する。

第18条 会計監査は、全会員の郵送投票により会員のなかから選出する。会計監査の任期については、第13条の規定を準用する。

第19条 会計監査は、幹事会に出席し、意見を述べることができる。

2. 旅費規程の改正について

改正の趣旨

大会における共通論題で、非会員が報告した場合、必要な宿泊費の実費を支給することができるようにするため、旅費規程を改正するものです。

改正された旅費規程(改正部分のみ)

第5条【非会員の大会共通論題報告者】

第1条(7)号に該当する非会員の共通論題報告(国内勤務者)は、大会開催の前年度と当年度を通じて3回まで往復交通費全額及び1泊1万円を上限として宿泊費を請求することができる。

3.および4.については別途記載

5. その他(学会賞選考委員の委嘱)

学会賞表彰規定第6条に基づき、2009年10月30日開催の第12回幹事会にて、次の5名を学会賞選考委員として委嘱しました。

遠藤公嗣(明治大学)、竹内敬子(成蹊大学)、三重野卓(山梨大学)、佐藤忍(香川大学)、室住眞麻子(帝塚山学院大学)(付記)2009年11月1日第1回学会賞選考委員会が開催され、互選の結果、遠藤公嗣が選考委員長に選出された。

3. 選挙管理委員会報告

2010-2012 年 期役員選挙の結果について、以下のとおり報告する。

開票作業は10月30日(金)に選挙管理委員立会いのもと金城学院大学で行われた。有権者総数1211名、投票者数206名(全員有効)、投票率17%であった。

なお、開票の結果、同数であった場合は規程にしたがって抽選を行い決定した。

<開票結果>

・九州中四国ブロック(定員2名)

(当選) 石井まこと 18票
都留 民子 18票
(次点) 富田 義典 14票

・関西北陸東海ブロック(定員4名)

(当選) 久本 憲夫 117票
埋橋 孝文 21票
布川日佐史 20票
所 道彦 16票
(次点) 吉村 臨兵 16票

・関東甲信越ブロック(定員8名)

(当選) 菅沼 隆 26票
遠藤 公嗣 20票
大沢 真理 20票
佐口 和郎 19票
田中 洋子 16票
禹 宗杭 15票
矢野 聡 14票
武川 正吾 13票
(次点) 岩田 正美 12票

・東北北海道ブロック(定員2名)

(当選) 野村 正實 8票
小笠原浩一 7票
(次点) 上原 慎一 7票

・会計監査(定員1名)

(当選) 阿部 誠 21票
(次点) 玉井 金五 15票

以上、選挙管理委員会(猪飼周平、上田眞士、工藤健一、玉井金五(委員長)、森詩恵)

4. 学会誌編集委員会からのお知らせ

(1)「コメント」欄の新設について

このたび、本学会誌『社会政策』に、掲載された論文・研究ノートに対する反論もしくは論評を掲載する「コメント」欄を新設し、会員のみならずからの投稿を受け付けることになりました。「コメント」欄の投稿原稿の採否は、査読専門委員の査読を経て、学会誌編集委員会が決定します。

投稿原稿の枚数や提出方法、提出先等の詳細は、学会公式サイトに掲載しますので、ご参照ください。

(2)「部会等の活動に基づく特集企画」の提案の募集(第3回)について

この企画は、本学会の専門部会、地域部会、国際交流委員会および学会史小委員会(以下、「部会等」)の活動の成果を、研究論文3点程度で構成される小特集の形式をとって『社会政策』誌上で発表することを目的とするものです。

この特集企画の条件は、以下のいずれかに該当するものと

なっています。

①学会大会において部会等の企画により開催したテーマ別分科会における報告に基づくもの。

②学会大会以外の機会に部会等の企画により開催したシンポジウム、研究会等における報告に基づくもの。

③このほか、部会等の活動の成果としての企画であると認められるもの。

今回の提案の締切は、2010年2月1日(月)とさせていただきます。提案の採否は、当委員会での審議を経て、学会幹事会で決定いたします。

特集企画の内容の詳細、応募の方法等については、学会公式サイトに掲載するとともに、部会等の責任者・世話人・委員長に通知させていただきます。

社会政策学会誌編集委員長 平岡公一

5. 学会賞候補作の自薦・他薦の募集

第16回学会賞の候補作の推薦をお願いします。自薦・他薦を問いません。学術賞・奨励賞いずれの候補であるか、付記していただくと幸いです。候補作の条件は、表彰規定第4条に基づき、本学会に3年以上継続して在籍している会員によって、2009年1月1日から12月末日までの間に公刊された著書です。

推薦される方は2010年1月末日までに下記にメールまたは郵便でご連絡下さい。候補作の現物の寄贈も歓迎いたします。

学会賞選考委員長 遠藤公嗣

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学経営学部 遠藤公嗣研究室

endokosh@kisc.meiji.ac.jp

6. 幹事会議事録

第11回幹事会議事録

(1)名称：社会政策学会2008-2010年第11回幹事会

(2)日時：2009年10月3日(土)13:30~16:30

(3)場所：東京大学経済学研究科12階第1共同研究室

(4)出席：阿部、石井、遠藤、小笠原、佐口、沈、菅沼、

玉井、平岡、宮本、吉村(出席 11 名)
欠 席：岩田、埋橋、小越、鈴木、田中、都留、久本、
布川、藤澤、室住、森、矢野、山本

(5) 議 題

1. 会員の入会・退会

入会申し込み書が提出された 6 名の承認を行った(ニューズレターNo.6 掲載済)。また、事務局へ送られてきた退会届 2 件について報告があった。

2. 秋季大会企画委員会報告

小笠原幹事より、第 119 回大会関連の報告が行われた。講演者が予期せぬ人事異動でプログラムを変更せざるを得なかったこと、自由論題の追加承認を行ったことなどが報告された。自由論題の追加承認については、今後このようなことが起きないように大会終了後に対策を考えていくことで了承された。また、第 117 回大会共通論題論文はすでに編集委員会へ引き継いでいる点についても報告があった。

3. 第 119 回大会実行委員会報告

山本幹事が都合により欠席のため、事前に山本幹事から送られた参加申し込み等の開催準備状況についての報告を阿部代表幹事を行った。

4. 春季大会企画委員会報告

佐口幹事より、大会共通論題に関して、前回幹事会で承認された企画委員会案について、報告者やテーマについて、決定している点の報告があった。テーマは「地域での生活基盤と社会政策」とし、報告者、座長案が示され、意見交換を行った。次回は 10 月中に打ち合わせを行うことが報告された。

5. 第 120 回大会実行委員会報告

鈴木幹事が欠席のため、佐口幹事より、開催スケジュールについて、通常より 1 ヶ月程度遅い開催になるので、今後、報告の受付等スケジュールの調整が必要になることが報告された。

6. 編集委員会報告

平岡幹事より、以下の報告が行われた。

まず、第 1 に編集委員会事務局業務のミネルヴァ書房への委託は順調に進んでいること、第 2 に第 1 巻 3 号、4 号の刊行予定が示された。第 3 に、第 3 号の大会記事に誤記があったため、ニューズレター、HP、次号の学会誌で訂正記事を出すこと、今後チェック体制を強化することとした。第 4 に、論文投稿状況の紹介があり年 20 本ペースであることが紹介された。

第 5 に、部会等の成果に基づく特集について、企画内容が紹介された。なお、特集企画の査読については投稿論文のものに準拠し、査読者のスピードアップを図るため、査読 1 名は編集委員とする提案があり、承認された。これに関連して第 6 に、査読専門委員の追加として、新しく入った編集委員の追加案が示され、了承した。

第 7 に、「研究動向紹介」の定期的掲載についての素案が示され、意見交換を行い、会員業績の把握とは別の趣旨のものであること、国際的動向の把握にも留意することを前提とし

て、この案を了承した。

第 8 に、学会誌に「コメント」欄を新設するという提案が行われたが、実施する上で様々な問題があることが指摘され、再度委員会で検討することとした。

第 9 に、非会員の特集論文への寄稿に対して謝金を支払うことについて、提案があった。謝金額は税金等も考慮しながら、1 論文 2 万円程度で考えていくことが了承された。

最後に、旧学会誌掲載論文の自著への転載許可の依頼があり、許可を行ったことが報告された。

7. 広報委員会報告

菅沼幹事より、今後のニューズレターの発送スケジュールが説明された。

8. 国際交流委員会報告

沈幹事より、9 月 12～13 日に北京で行われた「第 5 回東アジア社会保障国際フォーラム」の報告が行われ、次回は中国成都で行われる予定が述べられた。なお、このフォーラムについて、今後の学会としての関わり方について意見交換を行い、学会は後援団体であり、企画・運営に関わるものではないことを確認した。

次に、宮本幹事より、国際交流委員会企画として、講師の日程調整の関係上、秋季大会ではなく 12 月 9 日にルンド大学の Jonas Olofsson 氏を迎えて行うことが紹介された。

最後に、国際交流旅費規程に基づく招聘について、現在のところ申請がなく、第一次締め切りが過ぎているが、広報が不十分であったため、次回締め切り予定の 2 月末に向けて周知を図る旨、報告があった。

9. 次期幹事選挙について

玉井幹事より、幹事選挙の進捗状況について報告があり、9 月 15 日に公示され、メーリングリスト等を使い投票を呼びかけていることと報告された。なお、玉井幹事より、会員の地域別人数が変わってきており、それに見合った幹事数を検討する必要があるのではとの意見が出された。

10. 会則の一部改正について

阿部代表幹事より、ニューズレター等で周知している会則の改正について、会員より特に意見はなかったことが報告され、原案通り総会へ提出することが了承された。なお、次回幹事会にて最終確認することとした。

11. 旅費規程の改正

阿部代表幹事より、非会員の大会報告者への宿泊費の支給について、旅費規程改正案が出され、承認された。

12. 今後の大会開催校について

阿部代表幹事より、来年度以降の大会開催校について、予定校が紹介された。なお、秋季大会は地方部会のローテーションで回しているが、負担の大きな地域もあり、今後のあり方を検討することとした。

13. 経済学会連合報告

経済学会連合について、今回は特に報告はなかった。社会政策関連学会協議会も同じく報告することはなかった。

7. 承認された新入会員

氏名	所属名称	専門分野
10月31日承認分 2名		
米澤 亘	東京大学大学院 人文社会系研究科 院生	社会保障・社会福祉
室田 信一	同志社大学大学院 社会学研究科 院生	社会保障・社会福祉